

導入期 第5学年前半②	単元名：When is your birthday? Unit-2 (We Can!1) 【3/7 時間】
	主となる指導項目：音声コミュニケーション

**本時のねらい**

- ・音声で十分に慣れ親しんだ月名を識別し、正しい発音を知る。

【収録されている活動 (◆:本時のねらいにつながる主となる活動)】

**【序数を覚えよう】**

【ナンバーゲーム】を通して、繰り返し発音したり聞いたりし、序数に慣れ親しませます



**【序数を覚えよう：ナンバーゲーム】**

- ▼順番に数字を言い（1人2つまで）、最後の数字を言ってしまった人が負けのゲーム
- ☆ゲームを始める前に、前時の復習として、序数の言い方を確認しておく。
- ☆序数の言い方を全体で確認する際に、自分の誕生日に挙手させることで、自分の誕生日の日付の言い方に着目させる。
- ☆活動中は各グループを回り、サポートをしたり発音の訂正をしたりする。

**【誰の誕生日か考えよう】**

デジタル教材の音声を繰り返し聞き、登場人物の誕生日を聞き取らせませます



**【誰の誕生日か考えよう：Let's Listen 3】**

- ☆聞かせ方の工夫
  - ①（聞く前に）誌面にある誕生月生まれの児童に誕生日を尋ね、音声で慣れさせる。  
“When is your birthday?”（誌面にある誕生月：January, April, October, November）
  - ②児童の理解を確かなものにするために、音声を複数回聞かせる。
    - ・会話全体を聞かせる。（会話の流れや雰囲気をつかませる。）
    - ・区切って聞かせる。

**【自分の誕生日を伝えよう】**

チャンツを利用したり個別に繰り返し発音したりして練習することで、自分の誕生日が表現できるようになります



**【自分の誕生日を伝えよう】**

- ☆本時のキーフレーズを確認させるために、Let's Chant (When is your birthday?) を聞かせる。
  - ・表現の定着度合いを見ながら、速さのバージョンを使い分ける。
- ☆自分の誕生日が言えるように練習する。
  - ・担任とALTが1人ずつ質問をして、発音等で困っているところがないか確認する。  
（“When is your birthday?” “My birthday is ○○.”）
  - ・不安な児童には、個別に発音を聞かせることで自信がもてるよう配慮する。

**◆【誕生日を伝え合おう】**

ペアを替えながら、繰り返し伝え合う活動を通して、誕生日を尋ねたり答えたりする表現の定着を図ります



**【誕生日を伝え合おう】**

- ☆ALTとのデモンストレーションを見せ、見通しをもたせる。
- ☆悪いコミュニケーションの例も示すことで、コミュニケーションに大切な視点を提示する。
  - …相手の目を見て話をする。
  - ×…相手と目線を合わさず、ワークシートに記入しながら質問したり答えたりする。
- ☆児童の定着度合いを見て、掲示しているダイアログは見せないようにする。
- ☆友だちから聞いた誕生日をメモすることで、確実に伝えたり聞いたりする態度へつなげる。

\* あいさつ・振り返り等は省略しています